

# 2017年度 A級蹴士及び準A級蹴士発表

2017年10月13日  
日本テコンドー協会  
宗師範 河 明生

2017年度、日本テコンドー協会（以下、JTA）A級蹴士および準A級蹴士を発表する。

## I、定義

A級蹴士とは、組手および蹴武の型のいずれにおいても蹴美に秀でた名選手をさす。

準A級蹴士とは、全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会（以下、全日本FT大会）予選会における組手および蹴武の型において相対的には秀でた成績を残しているが、A級蹴士の絶対的基準を満たしていない選手をいう。

たとえば、少年少女部であっても、予選会A級蹴武型試合において一度も優勝していない場合、A級蹴士と認めない。

## II、効果

1) A級蹴士は、第28回全日本FT大会の複数種目（最大3種目）参加を許可する。

2) 準A級蹴士は、第28回全日本FT大会の複数種目（最大2種目）参加を許可する。

団体戦型の部に選抜されている場合、所属クラブの和を尊ぶ姿勢をつらぬかなければならない。

よって個人戦の組手および蹴武型の2種目に選抜されていたとしても、いずれか1種目を選択しなければならない。

3) A級蹴士は、JTA創始者の個人指導を受け、内弟子同等の薫陶を受けることができる。

準A級蹴士も上記に準じるものとする。

### Ⅲ、2017年度 A級蹴士および準A級蹴士の発表

#### 一、A級蹴士

#### 第1位A級蹴士 福島良菜

段位・初段

所属・福岡筑紫野 TC

年齢・15

学年・高1

出身・福岡県筑紫野市



#### 講評

第27回全日本F T大会において史上最年少（14歳）で最優秀選手賞。  
出場したA級蹴武型、中学生女子組手、団体戦型の3種目すべてで優勝。  
中学や高校への進学に伴い成長が止まる会員が多い中、  
驕らず高ぶらず謙虚な練習態度を堅持し、勉学も福岡県で上位をキープしている。

組手→ 関西大会一部女子無差別級総当たり戦で優勝。  
第28回全日本F T大会B級女子組手の優勝候補筆頭である。

型→ 全日本F T大会に次いでレベルの高い関西大会A級蹴武型において優勝。  
第28回全日本F T大会A級蹴武型の連覇を期待できる。

過去認定 **4年連続認定。**

2014年度準A級蹴士認定。2015年度A級蹴士認定。2016年度準A級蹴士認定。

## 第2位A級蹴士 倉田剛志

段位・二段 所属・千葉柏テコンドークラブ 年齢・38

出身・北海道函館市



講評 大学生や社会人の多くの会員が、仕事の激務を理由に現役を引退してしまう中、倉田は、大企業の激務もこなしながらも、たゆまぬ努力を忘れず、第28回全日本F T大会予選会の組手および型に積極的に参加しておりJ T Aの模範といえる。

組手→ 安定している。だが、昨年同様、一本勝ち・技有り勝ちがなく蹴りの鋭さが必要である。  
第27回全日本F T大会A級男子組手2位、本年度、湘南大会および関東大会一部無差別級優勝。

型→ 本年度、関東大会および中部大会の一部蹴武型A級において優勝。  
昨年度、指摘された問題点を克服している。

過去認定 **2年連続認定。** 2016年度準A級蹴士認定。

# 第3位A級蹴士 森 慎治

段位・初段

所属・福岡筑紫野 TC

年齢・13

学年・中2

出身・福岡県筑紫野市



講評 組手→ 関西大会一部中学生組手優勝と結果はだしているが蹴美の華やかさにやや欠ける。だが、前年度よりは成長している。とくに蹴りに重さを感じられる。

型→ 本年度予選会においても安定した実力を発揮している。部活で始めたサッカーの影響で蹴りの美しさが減殺されているので克服すべきである。

第27回全日本FT大会A級蹴武型3位、本年度、長崎大会および福岡大会一部蹴武型A級優勝。

過去認定 **3年連続認定**。2015年度準A級蹴士認定。2016年度準A級蹴士認定。

## 第4位A級蹴士 伊藤岳陽

段位・初段

所属・名古屋天白 TC

年齢・18

学年・高3

出身・愛知県



### 講評

少年少女部出身の若い門人中、福島良菜に迫る文武両道の若い門人。  
来年冬に大学受験を控えた高3でありながら、  
全日本F T大会に挑戦し続ける高い精神性は、高校生門人の模範といえる。

組手→ 少年少女部出身の男子ではじめて全日本F T大会予選会の一部組手無差別級を2度も制覇。  
高校生での予選会一部組手優勝者も史上初である。

本年度、全日本大学大会一部重量級B級と中部大会一部無差別級優勝。  
第28回全日本F T大会B級男子組手無差別級の優勝候補筆頭である。

型→ 本年度予選会の全日本大学大会蹴武型A級および中部大会一部蹴武型B級で優勝しているが  
激戦ではなく、従って全日本F T大会蹴武型A級では難しい。  
より一層のレベルアップが望まれる。

### 初認定

愛知県テコンドー連盟初のA級蹴士認定。

## 二、準A級蹴士 (講評省略)

### 中学生 準A級蹴士

### 寺川 洸大

段位・初段

所属・長崎佐々 TC

年齢・15

学年・中3

出身・長崎県佐々町



過去認定 本年度初認定。

全日本F T大会において選抜された個人戦・組手および型の2種目参加を許可する。

中学生

準A級蹴士

中道孝汰

段位・初段

所属・長崎佐々 TC

年齢・13

学年・中1

出身・東京都大田区



過去認定 本年度初認定。

全日本F T大会において選抜された個人戦1種目と団体戦型の参加を許可する。

小学生

準A級蹴士

高橋英秀

段位・初段

所属・川崎 TC

年齢・

学年・小5

出身・神奈川県



過去認定 本年度初認定。

全日本F T大会において選抜された個人戦1種目と団体戦型の参加を許可する。

次点

青木隼人、福島宏青、武田龍倭の3名は、優秀な若き門人ではあるが、

本年度、全日本F T大会予選会の組手もしくは型のA級で優勝できなかったため認定しなかった。

本大会では、選抜された個人戦の組手もしくは型の1種目にしぼり優勝を目指してほしい。

団体戦型もしかり。